

福祉保健課

健康づくり活動推進のための研修会を開催します  
「心と体のセルフメンテナンス」  
～10歳若返る健康づくり～

たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。  
日 時●11月21日(日) 午前10時～正午  
受付 午前9時30分～  
場 所●美郷町公民館(旧仙南公民館) ホール  
講 師●ガレージ1 主宰  
心と体のコーディネーター 水科 江利子 氏  
その他●動きやすい服装で、バスタオルを持参してください。

あなたの健康づくりに筋膜マッサージを取り入れてみませんか？  
筋膜とは筋肉についている薄い膜のことです。この筋肉をほぐせば、血管やリンパの流れがよくなり、人が本来持っている体の機能を回復したり、活性化する効果が期待できます。誰でも簡単にできるマッサージですので、「肩が痛い」「腰がちょっと…」というときにおすすめです。  
気になる症状は毎日のケアで解消し、毎日をいきいきと楽しく過ごしましょう。

平成22年度 メンタルヘルスサポーター養成講座を開催します

地域において、悩みを持つ人の心の支えになれる人を育成するため、下記講座を開催します。  
時間●午後1時30分～3時30分 定 員●30人(全日程受講可能な方)  
場所●美郷町保健センター(旧六郷保健センター) 申込締切●11月22日(火)

日にち	内 容	講 師
12月6日(月)	「自殺の現状とその取り組みについて」	秋田大学大学院 医学系研究科 准教授 金子 善博 氏
12月13日(月)	「仲間を作る話し合い・心を支える傾聴」①	秋田大学大学院 医学系研究科 准教授 佐々木 久長 氏
12月20日(月)	「伝えてください!あなたの気持ち」～人とつながるよりよいコミュニケーションをめざして～	秋田大学大学院 医学系研究科 教授 米山 奈奈子 氏
1月17日(月)	「仲間を作る話し合い・心を支える傾聴」②	秋田大学大学院 医学系研究科 准教授 佐々木 久長 氏
1月24日(月)	「仲間を作る話し合い・心を支える傾聴」③	秋田大学大学院 医学系研究科 准教授 佐々木 久長 氏

今年度から日本脳炎予防接種を受けることができるようになっていきます

日本脳炎予防接種は平成17年6月から国の方針によって接種の呼びかけを控えていましたが、平成22年度から新ワクチン「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」による積極的な接種勧奨が再開されました。

平成22年8月27日からは9歳から13歳未満の“第2期接種対象年齢”のお子さんにも新ワクチンでの接種が可能になっています。

第1期接種が終了している9歳以上13歳未満の方へ  
第2期ワクチン接種を希望する方は美郷町保健センターまでご連絡ください。  
対象●第1期(初回2回と追加1回)接種が終了している9歳以上13歳未満の方

美郷町では今年7月から“平成19年4月2日生まれ以降のお子さん”に日本脳炎予防接種第1期初回接種(2回)の接種依頼書を交付しています。3歳の誕生日を過ぎたおさんは早めに接種してください。これから3歳の誕生日を迎えるお子さんには2歳6カ月歯科健診の際に接種依頼書をお渡しします。

4歳以上(年度内に4歳に達する方を含む)で第1期接種を受けていない方へ

ワクチン接種を希望する方は美郷町保健センターまでご連絡ください。  
対象●3歳以上7歳6カ月未満の方  
※特例措置として9歳以上13歳未満の第1期接種が完了していない方も接種することができます。

第1期接種の接種方法と回数	
1期初回	6～28日の間隔を空けて2回接種
1期追加	1期初回終了後の1年後に1回接種

問い合わせ●町福祉保健課 健康対策班(町保健センター内) ☎0187-84-4900

住民生活課

枝豆のカラや剪定した枝等を  
ごみに出すときは、次のことに注意してください

10月から粗大ごみの収集が有料となり、資源ごみ以外の家庭ごみが完全有料化となりました。第1回目となった10月14日は、美郷町全体で約50世帯、個数にして約180個の収集依頼がありました。一部に、収集券シールが貼られていないもの、収集車が訪問してもごみが出されていない家がありましたが、「集積所まで運ぶのが大変だったので、戸別に収集車が来てくれて助かった」「これまで出せなかったスプリング付きのマットレスも出せるようになって良かった」など、収集業者の聞き取りでは利用者の声は好評のようでした。

また、「家庭ごみ完全有料化」に伴い、枝豆のカラや剪定した枝等は、ひもでしっかりと束ねていても指定袋を使っていない場合は「燃やせるごみの日」に出せなくなりました。  
枝豆のカラや剪定した枝等は次のいずれかの方法で搬出し、「家庭ごみ完全有料化」にご理解とご協力をお願いします。

- ①小さく切って指定袋に入れ、燃やせるごみの日に出す
- ②ひもで束ねてシールを貼り、粗大ごみの日に出す
- ③大仙美郷クリーンセンター(☎0187-62-1749)に直接搬入する

家庭用生ごみ処理機の購入費用を助成しています

町では家庭から出されるごみの中でも、特に生ごみを減らすことを目的として、家庭用生ごみ処理機を購入予定のご家庭に対し、購入費の一部を助成しています。購入を予定している方は、ぜひご利用ください。

助成対象●町内に住所があり居住している方で、初めて家庭用生ごみ処理機を購入される方。  
※法人は除く  
助成金額●購入費の2分の1(上限額5万円)  
申請方法●町住民生活課に申請用紙がありますので、生ごみ処理機を購入前に見積書等必要書類を添えて申請してください。申請用紙は町のホームページからもダウンロードできます。

生ごみ処理機は大きく分けて2種類あります(価格は5万円～10万円程度)  
①バイオ式…微生物(バイオチップ)を生ごみに混ぜて分解し、処理する方法  
②乾燥式…電気を使いヒーターの熱や風で生ごみを乾燥させて処理する方法

生ごみ処理機のメリット  
①生ごみを1/7～1/10程度に減らすことができます。また、臭いも少なく、残り(乾いた番茶のカスのような状態)は花壇や畑の肥料に使用することができます。  
②「燃やせるごみの日」に出すごみが軽くなり、運ぶのが楽になります。水切りをする作業もなくなります。

不要になったアダプターやゲーム機、電卓はありませんか  
使用済み小型家電製品の回収試験にご協力ください

小型家電製品に含まれるレアメタル(希少金属)のリサイクルを進めるため、不要になった家庭用小型家電製品の回収試験を実施しています。

※テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン、パソコン本体、単独の電池、CDやDVDなどの記録媒体は回収しません。

■回収する小型家電製品  
大きさが25cm×15cm以下のもの  
アダプター、MD・MP3プレーヤー、携帯電話、ゲーム機、電卓、電子辞書、デジタルカメラ、メモリーカード、充電器など、比較的最近使われるようになった小型電子電気機器。

■回収方法  
役場、学友館、公民館(旧仙南公民館)の1階に設置してある回収ボックスに入れてください。  
回収試験に関するご質問は秋田県産業経済労働部資源産業課(☎018-860-2283)までお電話ください。

問い合わせ●町住民生活課 環境安全班 ☎0187-84-4903